

つながる ひろがる

新潟産業人クラブ

かわらばん 2022年9月号 🍷

新潟産業人クラブ（先端技術研究会）

8月例会「まさかの打ち上げ花火で疫病退散を祈願」

産業人で花火をあげよう——。普通なら何かの例えだと思ってしまうが、本当に打ち上げてしまった。時間にして約1分半。新型コロナウイルス感染症の影響で祭りの中止・延期が相次ぐ中、久々になってしまった光の大演舞に会員ら22人が感嘆の声を漏らした。

新潟産業人クラブは8月23日、信濃川のほとり「やすらぎ堤」で8月恒例の納涼会を開催した。



夏季限定のビアガーデン「やすらぎガーデン2022 ミズベリング新潟」を会場とし、夕方の涼しい風をあびながら喉を潤した。コロナ禍で宴席が減っているのか、話が尽きない様子だった。

今回の実行委員は、ジーベック国際特許事務所（東京都千代田区）の小松悠有子弁理士。あてやかな浴衣をまとい、今どきの「スマホ注文」に慣れないテーブルにオーダーを取って回った。そして、プロントネット（新潟市西区）の白井大志社長も大活躍。なんと花火を打ち上げた明鼓煙火店（新潟市中央区）で働いていたことがあるという。当日も小舟に乗り、着火を手伝った。疫病退散の願いを込めた



当クラブのための花火だったが、やすらぎ堤に居合わせた人々の目も楽しませた。当クラブの加藤義竹会長（＝加藤研削工業〈新潟市東区〉社長）も「このサプライズはすごい。来年の実行委員は大変だね」



「ビンゴの一等賞は、あろうことが事務局の渋谷」

と絶賛した。

その後、ハリカ水原（新潟県阿賀野市）の今井一志社長の協力で抽選会を実施。初参加のシタミチホールディングス（新潟市中央区）の高橋遥統括マネージャーが、くじを引き、あざやかな司会で会場を沸かせた。一等賞のコーヒーメーカーは、あろうことが、当クラブ事務局の渋谷拓海が当ててしまった。皆さん、ぜひ1杯飲みにきてくださいね。

納涼会の終盤は、新潟大学の深谷清之統括ビジネスプロデューサー・特任教授があいさつ。「なんだか私、中締め担当になっていませんか」と恐縮しつつ、大学入試の秘話をこっそり披露してくれた。急なフリでも、どこかで話せるネタを提供してくださるのは、やはり先生。安定感を見せつけた。

午前中に雨が降ったこの日。小松弁理士は「雨が心配だったが、降らな



くてよかった」と、ほっとしていた。だが、安心もつかの間、23年の納涼会実行委員長に栗山米菓（新潟市中央区）の栗山研一取締役を選んだ。ホテル日航新潟も経営するだけに、栗山取締役は「会場はもう決まりましたから」と宣言し、早くも構想を練っていた。





【9例会（定時総会）のご案内】

9月14日16時より、ホテル日航新潟(新潟市中央区万代島5-1)4階「朱鷺の間」におきまして定時総会を開催致します。定時総会後には、新潟県環境局の梅津了副局長より、新潟県の環境政策などについてお話を頂く予定となっております。役員改選などもございますので、何卒ご参加下さいませようよろしくお願い致します。

また、10月例会は17日(月)13時30分より、特別例会として開催致します。

「100年の経営」をテーマに、日刊工業新聞社が事務局を務めます「ものづくり日本会議」、「100年経営の会」との共催で、広く県内外からも聴講者を募って開催する特別例会となります。講師には、大阪で熱処理業を営まれるダイネツの葛村和正会長をお招きします。同社は文化10年2月より200年以上にわたって事業を展開しております。皆様にはご予約下さいませよう併せてお知らせ致します。

事業予定

<u>9月14日(水)</u>	9月例会	定時総会
<u>10月17日(月)</u>	10月例会	ものづくり日本会議との特別例会
<u>11月16日(水)</u>	11月例会	秋竹 朋子氏 ビジネスヴォイストレーニング
<u>12月13日(火)</u>	12月例会	忘年会 行形亭 (いきなりや) 18時より

水曜と火曜を交互に開催。どうぞ、ご予約に入れておいてください。

◎全国の活動は[日本産業人クラブ連合会ホームページ](#)。各クラブ一部事業に参加可能。

☆かわらばんの掲載写真をご希望の際は、事務局へお気軽にご連絡ください。